

怒りを我らに (1994)

THE VERNON JOHNS STORY

メディア TVM

ジャンル

製作国 アメリカ

時間 100分

公開情報 劇場未公開・NHKで放映

【解説】

1948年、アラバマ州モンゴメリー。デクスター街のバプティスト教会に教区牧師として招かれたヴァーノン・ジョーンズは、黒人差別の現状に甘んじている市民に苛立ちを隠せない。彼の説教は時として過激なものとなり、白人だけでなく教会の黒人たちからも非難的となる。やがて白人警官による若い黒人女性のレイプが起き、ジョーンズと白人たちとの対立は頂点に達するが、そんな中、教会で唯一ジョーンズに理解を示してくれた友人が警官によって射殺される事件が起きた。事件はすべてジョーンズの説教に端を発していると言われ、彼は教区牧師の任を解かれることになるのだが……。物語の大半が説教シーンで占められているが、演ずるJ・E・ジョーンズのパワフルな芝居もあって見応えは充分。結局ジョーンズの後任として若い牧師がやって来るのだが、それがマーティン・ルーサー・キングであった。知られざる公民権運動の夜明け前を描いた意欲作とっていいだろう。

【クレジット】

監督	ケネス・フィンク	Kenneth Fink
製作	デヴィッド・R・カッペス	David R. Kappes
	ミッチェル・ゲイリン	Mitchell Galin
製作補	マイケル・ゴーニック	Michael Gornick
製作総指揮	リチャード・P・ルビンスタイン	Richard P. Rubinstein
	カリーム・アブドゥル=ジャバー	Kareem Abdul-Jabbar
原案	レスリー・リー	Leslie Lee
	ケヴィン・アーカディー	Kevin Arkadie
脚本	ケヴィン・アーカディー	Kevin Arkadie
撮影	ゲイリー・スティーレル	Gary Steele
音楽	ブライアン・キーン	Brian Keane
テーマ音楽	タジ・マハール	Taj Mahal
出演	ジェームズ・アール・ジョーンズ	James Earl Jones
	メアリー・アリス	Mary Alice
	ジョー・セネカ	Joe Seneca
	トミー・ホリス	Tommy Hollis
	ニコール・リーチ	
	クリフトン・ジェームズ	Clifton James
	シシー・ヒューストン	Cissy Houston